

# 『向島の豊かな自然と生きものたち』

## 第23回 青く輝くモルフォチョウ

「こんな蝶が?!ほんまにおるん!?!」

初めて目にした時、おどろきとあこがれと、すごーいっ!っていううれしい気持ちでいっぱいでした。

その気持ちは、すぐに「本物を見てみたーい!生息する場所に行って見たーい!!」という気持ちに変わり、それから何年たっただろうか…今でもその気持ちは色あせず、ずーっと持ち続けています。(いつかきっと見に行くぞー)

見る角度によって光って見えるモルフォチョウは、主に中南米に生息し、約30種いるそうです。ひとつの科の中での種類は少ないですが、無理もない美しさだと思われ、目立ちすぎて天敵にねらわれて少なくなっただのかな。とも思うし…。

ところが、このキラリと輝くことで、逆に天敵に見つかりにくいのかも知れない。という研究者もおられます。

世界には美しい蝶はいろいろといますが、この「モルフォチョウ」と他の「色柄が鮮やかで美しい蝶」はちょっと違う気がします。

モルフォチョウが美しくなったのは、オスとメスが出会うためだけでもなさそうだし…中南米といえば生き物の種類がものすごく多い地域ゆえに、ここまで光り輝く方法を手に入れないと生き残れないというすごーい蝶の世界なのかも知れませんね。

今回の標本は『虫屋の見る夢』などの著書がある福山市在住の「H>さん」と田川研さんからお借りした大切な標本であります。

この蝶を見て、我々人間が創り出す「美しさ」と自然界が創り出した「美しさ」との比較をじっくりと考えてみたいと思いませんか?